



始良市立柁城小学校 学校だより5月号

# 生き生き柁城

やる気・元気・根気

創立150周年

No.449

令和3年5月11日



いきいき柁城ブログ



## 学びの姿 視線集まる 参観日

校長 宮路 公貴

大型連休が終わり、学校生活も2ヶ月目に入りました。先生や友達との生活にも慣れ、本来の落ち着きを取り戻した様子を感じられます。5月といえば少し心配な面も一。毎朝、子どもたちの様子を観察していますが、元気なあいさつで校門を元気に通る子もいれば、連休疲れかな…と思う表情の子もいます。連休や夏休みなどの長期休みの後に、欠席しがちな子どもが増えるのも最近の特徴です。子どもの内面は一人一人違って結構複雑で、大人から見て大したことはなさそうでも、子どもの体調の変化や表情にも心配りが必要です。もし気になることがありましたら、小さなことでも、担任へ早めにご相談ください。

さて、5月7日の授業参観は、人数制限、学級ごとに参観校時を分けるなど、感染症防止対策を講じながら実施しました。学級によっては、教室に入れず限られたスペースからの窮屈な参観となりましたが、少しでも子どもたちの学びの姿を見ていただきたいという想いで実施しました。授業後、「校長先生、今日発表できたよ。」と、にこやかにランドセルを上下に揺らしながら駆け寄ってくる姿に、こちらまで嬉しくなる瞬間でした。授業参観は、保護者のみならず、子どもたちのためでもあるんだと再確認。PTA総会も事前の会場準備、資料準備等に、保護者の皆様の協力をいただき開催しました。翌8日には、地震を想定した引き渡し訓練も実施。保護者の皆様のご理解、ご協力に感謝申し上げます。

5月も中盤。子どもたちは、1学期の目標を決め、学級の係や委員会活動の仕事を分担して、新しい学校生活の形を整えてスタートしています。そして、これからの学校生活の中で、目標を達成することの難しさや達成できた時の喜び、役割と責任を果たすことの大切さ、立場にふさわしい言動の在り方、力を合わせて一緒に課題を解決・克服していく喜びなどを経験し、「自分が変わっていく」経験を積み重ねていくこととなります。

そうした中で、5月8日付け南日本新聞「オセモコ」に、本校6年生の草苅佑大さんの記事が掲載されました。4月6日の「日本一早い新茶取引会」の記事を読んで、感想や意見を書いたものです。お茶が好きな草苅さんが、鹿児島島が静岡を抜いて、お茶の産出額が日本一になったという記事内容から、ペットボトルで手軽に買えるようになったのに、お茶の生産量自体は伸びてないことへの疑問、感染症予防対策としてのお茶の効用。さらには、茶葉をガラスの急須で入れた時の様子を、「きれいな緑色、味はやわらかく、いい香り」と上手に表現し、健康に良いお茶を飲んで、元気いっぱい過ごしたいと結んでいる文章です。限られた文字制限の中で自分の考えをまとめることは、子どもたちに身に付けさせたい力です。まさに新学習指導要領で求められる「様々な資料等から新たな知識を得たり、事象を観察して必要な情報を取り出したり、自分の考えをまとめたり…」という言語能力の育成につながります。さて、5月27日には6年生を対象とした全国学力・学習状況調査も実施されます。6年生の皆さんには、これまでの学習の成果が発揮できるようがんばってほしいと思います。

過ごしやすい気候の5月。その一方で、感染症防止対策を講じながらの学校生活が続きますが、子供たちの頑張りの背中をしっかりと後押しできるよう、職員一同頑張っています。